



## 巻頭言

救急診療科 教授 / ささき じゅん 佐々木 純



### 災害に備えて

9月1日は防災の日です。我が国では、東日本大震災や阪神淡路大震災などの地震や台風、大雨による水害、火山の噴火などの自然災害が多くあり、常に備えておかなければなりません。災害に備え、訓練などが行われていますが、新型コロナウイルス感染症が発生した3年前からは大規模な訓練などは行われていません。5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類への変更が行われ、様々なイベントなどが再開されています。今年度は政府、東京都、江東区などでも様々な災害訓練が行われていく予定です。

昭和大学江東豊洲病院は災害拠点病院として、地域の医療拠点としての役割を担っています。日本DMATチーム（災害派遣医療チーム）も編成されており、災害時に活動できるように訓練に参加しています。災害時、当院での災害医療の中心となって活動することが求められています。また現在では新型コロナウイルス感染症によるパンデミックなどに対する支援にもDMATチームは活動してきました。災害時には、日頃からの備えがあることで命が助かることがあります。

### ・防災持ち出しの準備と点検をしましょう

災害時にはライフラインが断たれ、支援体制が整うまでに時間がかかることがあります。また病院も災害対応になり、クリニックなども休診となってしまうことがあります。少なくとも3日間分の飲料水や食料などを準備しておきましょう。

また、医薬品の準備も必要ですので、普段飲まれている薬、お薬手帳なども準備しておいてください。

### ・ハザードマップを確認しましょう

ハザードマップとは、災害による被害の軽減や防災対策を目的とした地図のことです。東京都や江東区のホームページなどで公開されています。

### ・避難場所と避難ルートの確認をしよう

いざという時どこに避難すればいいのか、地域ごとに決められた避難場所と、そこにたどり着くまでの安全な避難経路をチェックしておきましょう。

### ・家庭で災害について話し合いをしましょう

災害が起きた場合を想定して、家族間で連絡をとる方法や待ち合わせ方法などを決めておきましょう。

当院も災害拠点病院としてBCP（事業継続計画）マニュアルなどを作成し、また院内での災害訓練なども定期的に行い災害に備えています。行政と地域の皆様と一緒に活動していきたいと思えます。



### 第113号のトピックス

- ・巻頭言（救急診療科）
- ・第17回公開講座のお知らせ
- ・東京都より感謝状をいただきました
- ・江東区立豊洲図書館 推薦図書コーナーの設置について
- ・DMAT 隊員訓練の報告
- ・富岡八幡宮例大祭神輿連合渡御の接待所を設置しました
- ・編集後記

## 第17回公開講座開催のお知らせ

10月28日（土）に第17回昭和大学江東豊洲病院公開講座を開催いたします。  
前回と同様に、対面開催を予定しております。皆さまのご参加お待ちしております。

開催日時：令和5年10月28日（土）14:00~16:30 開場 13:45から

開催場所：昭和大学江東豊洲病院 9階講堂

### 『知っておきたい認知症』

演題：「**認知症を知ろう！ 3つのポイント**」

演者：昭和大学江東豊洲病院 老人看護専門看護師（日本看護協会認定）

石原 ゆき糸（いしはら ゆき糸）

演題：「**今から始めよう！ 認知症予防体操**」

演者：昭和大学江東豊洲病院 作業療法士

山下 実里（やましたみのり）

演題：「**困ったときの相談窓口**」

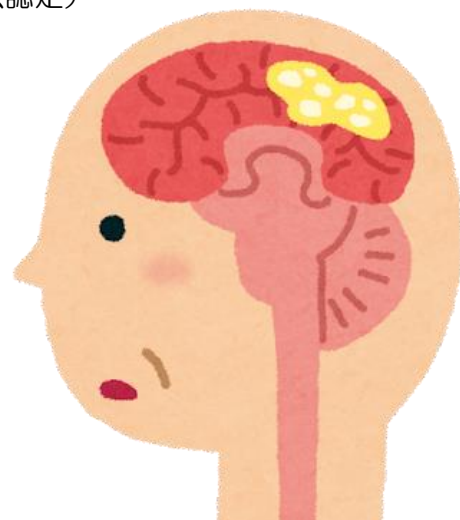
演者：昭和大学江東豊洲病院 精神保健福祉士

鉾丸 俊一（ほこまる しゅんいち）

受講の申し込みは **9月28日（木）9時から**

※申し込み方法の詳細は病院ホームページをご覧ください。

費用：無料 主催：昭和大学 後援：江東区



## Report

### 東京都より感謝状をいただきました

7月20日、酸素・医療提供ステーション（築地デポ）への医療従事者派遣をはじめ、新型コロナウイルス感染症に関する医療提供に貢献したとして、東京都より感謝状が贈呈されました。

今後も私たちは新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、引き続き安全・安心な医療の提供に努めてまいります。



左から小林看護部長、成田友代 東京都保健医療局技監、横山病院長、嶋田副院長、佐藤事務部長

## 江東区立豊洲図書館 推薦図書コーナーの設置について

江東区立豊洲図書館と連携し、当院医師・看護師等からの推薦図書を配架する特設コーナーを館内に設置していただいています。現在は、乳腺外科、臨床病理検査室の推薦図書を紹介していただいています。

### 推薦図書・推薦コメント（一部をご紹介します）



#### 乳腺外科



『がんの？に答える本  
がん相談ホットラインに  
寄せられた100の質問と回答』  
公益財団法人日本対がん協会／著  
学研プラス／出版



乳腺外科  
吉田 美和講師

『がんになった親が  
子どもにしてあげられること』  
大沢かおり／著  
ポプラ社／出版

日本対がん協会のがん相談ホットラインに寄せられたがんについての様々な質問に、がん医療の最前線を知るスタッフがわかりやすく解答・解説しています。

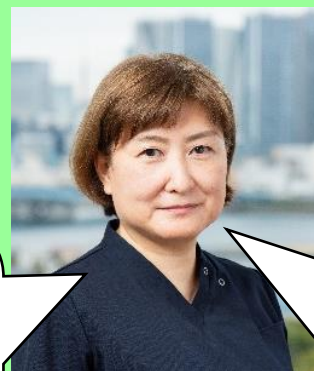
自分の病気について、お子さんにどのように話をしたらいいか迷っていたら、手にとってほしい1冊です。



#### 臨床病理検査室



『眠れなくなるほど  
面白い図解微生物の話』  
山形洋平／著  
日本文芸社／出版



臨床病理検査室  
田原 佐知子技師長

『ペスト』  
カミュ／著  
宮崎峯雄／訳  
新潮社／出版

カラーの本ではありませんが、イラストや図が多く読みやすい本です。私たちの生活の周り、体の中にもいる微生物たち。様々な場面で人間のために良い働きを見せる、あるいは悪さをする微生物たちを知る機会になる本です。

ペストに襲われ、外部とまったく遮断された一都市のなかで悪疫と戦う市民たちの記録という物語です。コロナ禍での緊急事態宣言の時とかぶってしましますが、いつの時代も未知の感染症との戦いは変わらないと考えさせる内容です。

江東区立豊洲図書館  
〒135-0061  
東京都江東区豊洲 2-2-18  
江東区豊洲シビックセンター  
9階・10階・11階（一部）



## DMAT 隊員訓練の報告

7月28日（金）、自衛隊航空機を使用した広域医療搬送実機研修に DMAT 隊員4名（森田医師、倉富看護師、平山看護師、高田業務調整員）が参加しました。

航空自衛隊小牧基地内に SCU（航空搬送拠点臨時医療施設）を設置し、航空自衛隊機（C-130）を使用して医療機器及び傷病者の搬送訓練を行いました。

近い将来の発生の切迫性が指摘されている大規模地震には、南海トラフ地震、首都圏直下地震、中部圏・近畿圏直下地震があります。発生時には、今回の訓練を生かして効率よく患者搬送が出来るように努めてまいります。



## 富岡八幡宮例大祭神輿連合渡御の接待所を設置しました

8月13日（日）、6年ぶりに富岡八幡宮例大祭が開催されました。

このお祭りは深川八幡祭りと呼ばれ親しまれている江戸三大祭りの一つで、水かけ祭りで有名です。

当院は病院前に休憩接待所を設置し、ジュース等の飲み物を振る舞いました。

病院長、副院長ら病院関係者も病院前では水を浴びながら元気に神輿を担がせていただきました。



編

まだまだ暑い日が続いておりますが、季節は秋に向かっております。

秋といえば十五夜ですね。十五夜の意味は主に3つあるといわれており、1つ目は収穫への感謝と豊作への祈り、2つ目は月への感謝、3つ目は最も美しい秋の月を眺めるという目的があるそうです。

集

古来、日本では十五夜に関わらず月をめぐる風習があったそうです。平安時代になると、十五夜に月を見ながら宴をするという風習が中国から伝わり、日本の貴族の間で広まったといわれています。庶民が十五夜を楽しむようになったのは江戸時代のころ、月を鑑賞するだけでなく、月に農作物の収穫を感謝したり、豊作を願ったりする意味も加えられたとされています。

後

今年は9月29日が十五夜となっております。きれいなお月様を眺め、お月見団子を頬張りながら1年の健康を祈るなど、一味違った楽しみ方をしてみてはいかがでしょうか。

記

薬剤部 伊藤 綾花



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院  
Facebook ページ